今回のチャリティーバザーに際しまして、品物を提供して下さった皆様、当日のお客様、そしてボランティアの皆様、その他大勢の方々にご協力を頂きました。誠にありがとうございました。

改めまして今回のバザーで考えさせられましたのは、「人と人とのつながり」の大切さです。その結びつきが強いからこそ、同じ目標に向かっていけるのだと思いました。

また、会長として最初の事業でしたが、ポスター作りから始まり、役割分担、前日と当日の様々な段取りなど職員の方々の多くの労力に支えられているという事も実感しました。

今後とも子どもたちの為にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

後援会会長　森田誠一

9 月 10 月と長雨や台風が重なり、大水や洪水の被害が相次ぎました。緊急避難情報がケイタイに 10 も 20 も入りました。皆様のお住まいの地域では大丈夫だったでしょうか。

実は神愛ホームの子どもたちも近くの体育館に避難を余儀なくされました。川の氾濫というより土石流やがけ崩れの被害が心配されたためでした。幸い大事には至りませんで、ホッとしましたが、いくつもの河川が氾濫したり、堤防が決壊したりと、死傷者が 100 名にのぼるなど、あらためて自然災害の恐ろしさを感じました。

被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

神愛ホームには、子どもたちの勉強を見てくださる家庭教師をはじめ工作や習字、音楽リトミックやピアノを指導してくださるボランティアの方々がいらっしゃいます。

お習字は、小山明子さんが、毎月 2 度ほど何年もお稽古を続けて下さり、その成果が確実に実を結んできているようです。

左の作品は、書初誌上展で特選を受賞した小 4 女児の作品です。

これからもますますの精進を期待いたします。

人間を愛す

これは、白樺派の文学者として知られる武者小路実篤先生が、まだ小学生だった私に書いてくださった言葉です。毛呂山町にある『新しき村』の創立祭にいらっしゃった時のことです。90 歳ちかくだったと思いますが、震える手で書いてくださいました。

「友情」「おめでたき人」「真理先生」などの本を読むたび思い出しました。

小室初枝

神愛ホーム後援会会報 80 号　　き　ず　な　　2019 年 11 月 15 日発行

談論風発　　原風景に宿る思い出とともに

毛呂山町立毛呂山中学校長　小堺広司

日本人は、四季の中に、二十四通りの季節（二十四節気）の移ろいを細やかに感じ取ってきました。花など自然を愛で、畏敬の念を抱き、そこに宿る魂に祈りや願いを込めてきました。「東日本大震災」以来、忘れかけていたこの習慣を改めて見直し、回帰するようになりました。自らが生まれ育った土地、または終の棲家とした場所の一年を注意深く追いたいものです。季節を感じ、時々の花や鳥や月を愛おしみ、ひとつひとつ噛み締めながら、その場所で演出される自然や文化を次の世代に伝えたいと思います。

「原風景」という言葉が好きです。人の心の奥底にある、懐かしい思い出に彩られた風景をいいます。私にとって毛呂山の原風景は、教育委員会勤務時、住まいの坂戸から高麗川を渡ると迫り来る奥武蔵の山並みや、庁舎の５階から夜景のごとく眺める病院のビル群です。特に色濃く蘇る風景は、東日本大震災の後、人事や学力向上など難しい課題に対峙しながら、末期がんを発症した父を見舞う日々が続いた時のものです。計画停電の交差点で、通学の小学生を見守ったり、もろ丸君ノート・社会科研究展の創設、防災無線による下校放送を子どもの声で録音するなど、できることを精一杯務めました。私の愚痴を聞いてくれるはずの父は日に日に痩せ細り、そのときを迎える心の準備が必要なこともわかっていました。７月最後の日曜日、翌日の勤務を気にしながらも父の病室を見舞い、夕方まで父のむくんだ足をマッサージした時、冷えきった足に違和感を覚えました。父はうつろな眼差しを私に向けて、「もうやめていいよ」と振り絞るように言いました。看護師が脈を電子機器で測定するも数値が出ず、温かいタオルで手を温めてもダメでした。「もう帰るよ」と声をかけると「アーッ、アーッ」と驚くほど大きな声で返事しました。ただ、その時、目はつぶったままでした。浦和の病院を出て、坂戸の自宅にあと少しで着く頃、父の亡くなった知らせを受けました。耳元で「育ててくれてありがとう」、少しでもぬくもりの残った体に伝えたいと、できる限りのスピードで戻りましたが、処置室に入れられた父と会うことは許されませんでした。なんで扉をこじ開けなかったのだろうと、今でも後悔します。葬儀の後、見上げた空に、さるすべりの赤い花が揺れていました。

教育の現場では、子どもにとって学校が原風景となります。学校が、良き思い出となるように、子どもたちと全力で過ごしたいと思います。学校を彩る四季の花々に目を向けたり、二十四節気や年中行事、節句など季節の話題、育ててくれている親の話題、亡くなった魂を悼む命の話題などを話すと、ぼんやりとしていた生徒の表情が、突然ポッと火が灯ったように輝き出します。生徒は共感したい、誰かのために思いやりの心を持ちたい、という優しさにあふれています。私たち大人も生活にドラマを欲し、心の扉を開いて同じ方向を向き、ひとつになりたいと感じるものです。

ワン・チーム毛呂山中を合い言葉に、教職員と生徒がひとつになり、ふるさと毛呂山中を誇りに思って、語り継いでいく教育を目指してまいります。どうぞよろしくお願いします。

2019 年度の後援会年会費・寄付を次の皆様より賜りました。**ありがとうございました。**

2019　7.1.　～　11.7.　　敬称略・順不同

小川照子、 大山敏子、 粟田博、 ブックランド･エル、 白井日出男、伊藤璋子、
三上聰雄、 高福寺、 村岡義章、 稲垣精肉店、 松崎信夫、 奥泉光子、榊原万里子、
徳井勝二、 皆川松美、 小室みち、 小室初枝、 宮崎功・さち、村中信将、小島真樹、
鈴木節子、山川登志子・光代、小林平八郎、武藤米穀店、、吉田まさ子、亀井忠雄、
藤田朋美、藤田太三男、阿古后代、西中裕一、岡田サダ、加畑紀子、大沢秀男、
三宅隆志、桑原克夫、衣非久光、中村春枝、小室紘和、小原純子、高坂純一、
株式会社タカクラベンディング　代表取締役　高倉明男、神木若哉、小林明美、
小山明子、小山好一、三澤憲二、石川ナヲ子、服部貴次、成瀬大輔、小石川克枝
青木ふさえ、鎌北建設株式会社、金沢不動産株式会社　代表取締役　金澤充博、
両角順郎・秀子、株式会社コーザノストラ　代表取締役　関根和幸、
一川美沙子、萩原克美、森田誠一、匿名

後援会員の皆様は、1,000 円を毎年 12 月末日までに納入いただけますと幸いです。

《寄付金および後援会年会費の振り込み方法》

Ⓐ専用振込用紙使用の場合

Ⓒに番号をご選択の上ご記入ください。記入がない場合は、それぞれ①とさせて頂きます。

1
①正会員→お預かりした金額から後援会年会費として 1,000 円(子ども達への進学、卒園のお祝や事務経費等に支出させて頂きます)。残金を寄付いたします。
②準会員→全額を寄付します。

2　次に寄付先を①神愛ホーム(法人)のために（税額控除対象です）
②神愛ホームの児童のために（税額控除対象です）
③後援会　　からご選択ください.

Ⓑコンビニや他の金融機関からの寄付　(年会費お支払いの場合はお手数ですが、専用振込用紙をお使いください)

郵便振替　00140－4－611441　社会福祉法人　神愛ホーム
郵便振替　00560－4－60776　　社会福祉法人　神愛ホーム　後援会

※領収書の宛名はご依頼人名となります。後援会への年会費、寄付は税額控除対象外です。

また、お知り合い等振込用紙が必要な方、ご質問のある方は事務局（☎049-294-0040）までお願いします。

きずな

社会福祉法人神愛ホーム後援会
350-0452
埼玉県入間郡毛呂山町大谷木 214-1
Tel:　**049-294-0040**
Fax：049-295-8433
郵便振替：00560-4-60776

第 26 回チャリティーバザーが、9 月 29 日(日曜日)　神愛ホームにて開催されました。

前日から　品物を搬入したり、テントを設営したり、売場に運んで展示したり値段をつけたりと、多くのボランティアの方々やホームの職員や子どもたちが、頑張って用意しました。

心配されたお天気も、晴れて夏のような一日となりました。予想外の暑さでボランティアの皆様も並んで待ってくださったお客様も大変でした。ありがとうございました、　食品、食器、野菜は、売場が屋外だったので　特に大変だったと思います

例年参加してくださる国際ソロプチミスト･埼玉カメリアの皆様も花を添えてくださいました。今年は癒しのハンドマッサージのコーナーも好評でした。

食品	¥18,600
雑貨	15,885
食器	11,015
衣類	9,340
野菜	8,330
寝具	5,690
文具・玩具	6,785
カンパ	4,534
売上合計	**¥80,179**

ご支援・ご協力　ありがとうございました。

敬称略　順不同　記載漏れ誤字などご容赦ください

石川ナヲ子、小室貴史、柿沼隆昌、小山孝子、三上聰雄、細田澄子、一川美沙子、飛先奈美子
荒木まさ子、小山明子、小駒早苗、小川修一、片野三代志、宮崎孝子、坂本弘志、
竹本直美、奥泉光子、宮坂重子、坂口つぐ子、菊地八重子、小山菓子店、鷲谷美登里、
村田祥子、木村光子、澤山久美子、荒木かおる、南舘昇、南舘奈津子、青木ふさえ、
浅子佳子、千葉敬子、五十嵐京、大谷木千代子、杉山順子、吉山栄子、板花実咲、
板花こうき、石原直美、山中和平、土谷輝代、滝戸育子、鈴木節子、鶴見基功枝、
森田誠一、萩原克美、国際ソロプチミスト･埼玉カメリアの皆様、匿名